

長期借入金の償還見通しに関する試算と実績の検証等について

「平成27年度末に中(長)期目標期間が終了する農林水産大臣所管独立行政法人の業務及び組織の全般にわたる検討結果並びに講ずる措置の内容についての意見」(平成27年11月17日 独立行政法人評価制度委員会)を受けて定められた本機構の中長期目標及び中長期計画に基づき、当該目標期間(令和3年度～令和7年度)における水源林造成業務に係る長期借入金の償還見通しの試算と実績の検証等を以下のとおり行ったので、その結果を公表します。

なお、試算因子等については、森林整備センターに設置している外部有識者を含む「水源林造成業務リスク管理委員会」からの意見を反映させて設定しています。

1 本試算について

本機構が行う水源林造成業務のうち、長期借入金等に係る平成13年度までに植栽を行った約40万haの事業地を対象に、以下の前提条件により長期借入金の償還が全て完了するまでの間の事業の将来収支シュミレーションを行い、中長期目標の期間における償還額の計画・試算・実績等の検証結果を以下の2及び3に記しています。

試算因子(収入等の前提条件:令和5年度試算)

- (1) 国 費 : 令和6年度以降は、令和5年度当初予算を基準に前年度以下となるよう設定
- (2) 長期借入金 : 令和6年度以降は、令和5年度当初計画額を基準に前年度以下となるよう設定
- (3) 借 入 金 利 : 直近の実勢金利を基礎として設定
- (4) 木 材 価 格 : 国内企業物価上昇率を見込んだ木材価格をもとに業務収入を設定 [注]
- (5) そ の 他 : 業務外収入として、利息収入・還付消費税等を設定

[注] 試算に用いた木材価格は、過去5年間の木材価格の平均値をもとに算出
(60年生材3,364円/m³、80年生材4,128円/m³)。

2 償還額の計画・試算・実績及び借入金残高

第5期中長期目標の期間における償還計画等は、以下のとおりです。

(単位:億円)

年 度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
償 還 額 (計画)	96	93	91	87	80
償 還 額 (試算)	96	93	91	87	80
償 還 額 (実績)	96	93	—	—	—
借入金残高(実績)	991	946	—	—	—

※償還額(計画)は、中長期計画に記載した額の単年度の内訳額

※償還額(試算)は、試算に基づく見込額

※償還額(実績)は、令和4年度決算報告書に記載した実績額

※借入金残高(実績)は、令和4年度財務諸表に記載した実績額

3 試算及び実績についての検証結果

(1) 試算

令和5年度の試算においては、長期借入金の金利を0.4～3.0%、業務収入における木材価格の物価上昇率を0.5～8.2%、業務外収入における利息収入の運用金利を0.002%として試算した結果、令和24(2042)年度までは借入金等により所用経費を賄う一方、造成された水源林が着実に生育することにより造林木販売収入が漸増し、以降、順次造林木販売収入等をもって償還に充当することにより、令和44(2062)年度に償還が完了する結果となった。

(2) 実績

令和4年度は、計画どおり93億円(対計画額100%)の償還を行った。

また、令和4年度末の借入金残高は、計画どおりに償還を進める中、946億円となった。